

リブ・イン・ピース 第5回オンラインカフェ

アフガニスタンからの米軍の撤退 ～米欧日の侵略と戦争犯罪の20年～

日時 9月19日(日) 午後2時～4時 ZOOM

テーマ ①アフガニスタン戦争20年
～米欧の侵略と戦争犯罪について
②アフガニスタン戦争と加害者日本
③補足報告、討論、まとめの議論

1

第1報告

アフガニスタン戦争20年 ～米欧の侵略と戦争犯罪について

報告者

吉田正弘 (リブ・イン・ピース会員)

2

1 米軍のアフガニスタン撤退

8月15日 カブールにタリバン入る

8月31日 米軍がアフガニスタンから完全撤退



カブールの空港は
大混乱に陥った

3

ガーニ大統領は逃亡し、タリバンが政権に



タリバンの戦闘員は、アシュラフ・ガーニ大統領が国外に逃げた数時間後にアフガニスタンの大統領官邸に入った。写真:スクリーンショット

10日間ほどの間に各
州都はタリバンの手
に落ちた

4

アフガニスタン報道

アフガニスタンに関する報道のほとんどはタリバンの危険性を訴えるもの

- ①女性の人権抑圧
- ②民主主義の圧殺
- ③過激なイスラム原理主義等々

加えてバイデン政権の撤退の仕方の無責任と批判し、脱出の悲劇を取り上げる論陣

考えるべきことはこれでいいのか？



5

アフガニスタン戦争－米の完全敗北

- ①2001年以来の米欧のアフガニスタン戦争、「対テロ戦争」に完全敗北したこと
- ②影響を残して撤退する戦術も破産した
 - ・トランプはガーニ政権とタリバンの話合いに失敗。政府に影響力を残すことも断念。5月1日期限の撤退を決めた。
 - ・バイデンは、ガーニ政権で3カ月持たせて、その間に撤退するプラン。政府が自ら倒壊、消滅し、失敗。
 - ・結局、なりふり構わず逃げ出したこと

6

まるで1975年のサイゴン陥落を思わせる

違いは、ベトナムでは勝利者が社会主義の北ベトナムと南ベトナム民族解放勢力だったが

アフガニスタンではイスラム原理主義で反動のタリバンだったこと

しかし、アフガニスタンが米軍を敗北させ民族自決権を取り戻したことは確か

非常に複雑な状況。まずは全体像と歴史的経緯を考えたい。

7

2 アフガニスタン戦争の20年は何だったのか

9/11と被害報道ばかりー違うのでは？

始まりは10月7日。ブッシュ大統領が空爆開始（侵略戦争開始）

戦争に正当性はあったのか？

アルカイダが国内にいることで、一つの国家に戦争を仕掛けることは許されない。自衛権の要件満たさない。（米の自衛権もNATOの集団的自衛権も発動）

アルカイダは米とサウジが育て武器と資金を供給した



8

戦争の被害

米ブラウン大学のワトソン研究所の調査では、20年間のアフガニスタン戦争による死者(直接原因)は24万3000人

- ①市民 7万 418人
- ②反政府武装勢力8万5731人
- ③政府軍 7万8526人
- ④米軍兵士 2324人
- ⑤民間軍事会社雇員 4007人
- ⑥同盟軍兵士 1144人

出典 <https://watson.brown.edu/costsofwar/figures/2021/WarDeathToll>

WATSON INSTITUTE OF INTERNATIONAL & PUBLIC AFFAIRS BROWN UNIVERSITY COSTS OF WAR

	Alghemal	Pakistan	Tajik	Sri Lanka	Tanzania	Other*	Total
U.S. Military ¹	2,334 ¹	-	4,584 ¹	-	-	130	7,048
U.S. DOD Civilian ²	6	-	15	-	-	-	21
U.S. Contractor ³	3,917	90	3,650	19 ⁴	2 ⁵	51 ⁶	8,189
National Military and Police ⁷	69,093 ⁷	9,431 ⁷	45,519	80,600 ⁷	-	N/A	204,643
Other Allied Troops ⁸	1,144	-	323	13,407 ⁸	-	-	14,874
Civilians	463,197 ⁹	24,099 ⁹	188,431 ⁹	95,000 ⁹	12,690 ⁹	N/A ⁹	363,319
Opposition Fighters	52,893 ¹⁰	32,838 ¹⁰	34,806	77,000 ¹⁰	99,321 ¹⁰	N/A ¹⁰	296,858
Journalist/Media Workers ¹¹	74	87	242	75	33	129 ¹¹	541
Humanitarian/NGO Workers ¹²	446	103	63	224	46	8 ¹²	892
TOTAL	176,206	66,650	275,087	266,323	112,092	578	897,336
(Rounded to Nearest 1,000)	176,000	67,000	275,000	266,000	112,000	1,000 ¹³	897,000
			326,000				929,000

ポスト9/11戦争の人的コスト-主要な戦争ゾーン、アフガニスタン&パキスタンでの直接戦争死(10月2001年10月 - 8月2021)、イラク(2003年3月-2021年8月)シリア(2014年9月-2021年5月)イエメン(2002年10月-2021年8月)及びその他の11戦争地域

人的コストアフガニスタン、パキスタン、イラク、シリア、イエメンなどでの9/11後の戦争の犠牲者で直接殺された人の数は、ここで推定されています。例えば、水の損失、下痢、その他のインフラ問題、戦争関連疾患など、戦争の長期的な影響として、さらに数億の死者が推定されています。2021年9月1日現在。

ワトソン国際公共問題研究所
111 セイヤーズトリート
ブラウン大学、ボックス

戦争による死者

アルジャジーラのアフガン戦争特集
出典は前出ワトソン研究所
数字が微妙に違うのは4月までのデータだから



出典 <https://interactive.aljazeera.com/aje/2021/afghanistan-visualising-impact-of-war/index.html>

戦争の人的コスト

ブラウン大学の調査によると、米国が2001年9月11日の米国での攻撃をきっかけとしてタリバンを支持したアフガニスタンに侵襲して以来、戦争の直接的犠牲者として推定241,000人が死亡している。連年の戦争によって引き起こされた飢餓、病気、避難のために、さらに数千万人、主に難民が苦しんでいる。

死者のうち71,344人は、アフガニスタンの(パキスタンとの長い争い)難民キャンプの崩壊で死亡した難民である。アフガニスタンでは少なくとも47,245人の難民が死亡し、パキスタンでは24,999人が死亡した。アフガニスタンを越えた難民や米国の無人機攻撃を犠牲にしたアフガニスタンと2,670km(1,659マイル)の主に山岳地帯を共有している。



女性と子どもへの攻撃

アルジャジーラの特集

2010年からの10年間で

3219人の女性が殺され

7792人の子どもが殺された

女性の人権を問題にするメディアはこのことを取り上げたのか

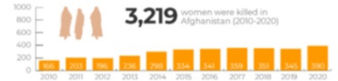
3800万人の人口のうち

270万人が国外避難民となり

400万人が国内避難民となった

アフガニスタンは、子供である世界で最も危険な場所の一つであり続けています。過去10年間で、アフガニスタン児童ミッション(INAMAM)は、少なくとも7,792人の子どもが殺害され、18,662人が負傷しました。負傷した子供たちの多くは、部族の紛争で手足を失っています。

女性も大きな代償を払っており、2010年以降、戦争による死者は3,000人以上、負傷者は27,000人を数えています。昨年(2020年)は過去10年間でアフガニスタンで女性にとって最も致命的で、390人の死者が記録されています。



アフガニスタンの人口3,800万人のうち少なくとも270万人が戦争により国外を避難せざるを得ず、400万人が国内避難民となった。国連(UN)によると、さらに400万人が国内避難民となっている。

戦争の影響

— 生活は悪化した

いくつかの指標は改善された? しかし、

- ①貧困率は54.5%に増大し
- ②女性の平和と安全指数はイエメンについて世界ワースト2位
- ③ユニセフによると370万人の子どもが学校に行けず、そのうち60%は女子である
- ④Opium (アヘン) 生産量は倍増

2001-2021: アフガニスタンはどうに比較されますか?

2001年のタリバン政権崩壊、連年続く飢饉、戦争、女性の権利が脅かされることなど、今日、平均寿命は49歳、識字率は49%、60%の女性が女性の政治的参加を制限されています。

これらの影響にもかかわらず、アフガニスタンは依然としてイエメンに次いで世界で2位にランクされ、多額の援助に依存する最貧国の一つです。女性平和と安全指数で、教育に關して、ユニセフの2020年の報告書によると、370万人の子どもが学校を出て、その60%が女の子でした。

さらに、ほとんどのアフガニスタンは貧困の中で暮らしています。そして、米国が産業に90億ドル以上を費やしているにもかかわらず、アフガニスタンは世界で最も貧しい国の一つです。

AFGHANISTAN
Afghanistan since the invasion

Before	Life expectancy	After
56 years (2000)	Number of years a person is expected to live (2000-2020)	64 years (2020)
15,000 (2000)	Maternal mortality	7,700 (2020)
33.7% (2000)	Poverty rate	54.5% (2020)
11.58% (2000)	Unemployment rate	8.84% (2020)
0.37 (2000)	Standard of living	0.5 (2020)
74,000 (2000)	Opium production	163,000 (2020)
-2.51 (2000)	Human rights scores	-2.31 (2020)

米軍とNATO軍

米とNATOが送り込んだ戦力はオバマ大統領時に最大で、

米兵 10万人
NATO 4万人
民間軍事会社 数万人

2021年4月で1.8万人（米国人は6350人；CNN）

日本の3分の1の人口の国に陸上自衛隊の定数(15万人)を超える軍隊を送り込んで支配した。

AFGHANISTAN
The US and NATO's longest war
The war in Afghanistan spanned nearly 20 years and four US presidents.

Source: US Special Inspector General for Afghanistan Reconstruction [Data as of April 2021] @AJLaba ALJAZEERA

13

2. 3兆ドルは軍産複合体等に

ワトソン研究所によると
アフガニスタン戦争の費用は2.26兆ドル(250兆円)

国防総省の戦争費用103兆円
戦費利子支払い 58兆円
国防総省の追加戦費 49兆円
退役軍人医療障害ケア費33兆円
国務省の戦争予算 6.5兆円

復興イニシアチブ費用 16兆円
このうち9兆円が軍と警察の費用（実際には7兆円）
これは年間の海兵隊予算の2倍、食料スタンプ予算を上回る。

日本の20年間の抛出は7000億円（警察関連が多い）
復興目的などにはほとんど使われていない
250兆円は軍産複合体、民間軍事会社、金融独占に

戦争の経済的コスト

戦争コストプロジェクトによると、アフガニスタンの戦争が過去4年間で26兆ドルの費用がかかったと推定されています。支出の大部分である2350億ドルは、米連邦政府の戦争予算に割り当てられ、後にさらに4430億ドルが借られました。

残りの資金には、退役軍人の医療と障害ケアのための2960億ドルと医療者の戦争予算に充てられ、990億ドルが消費されています。米国はまた、戦争を通じて多額の借入のために約5300億ドルの利息を支払った。米国はアフガニスタン復興イニシアチブに1440億ドルを費やしてきた。これらの数字には退役軍人の医療ケアや将来の支払いが含まれておらず、米国がアフガニスタンを離れた後も戦争の費用を支払いつづけることを意味します。

AFGHANISTAN
War has cost the US \$2.26 trillion
It will **continue to pay** for the war even after it leaves.

- \$933bn** Defense Department war budget
- \$530bn** Estimated interest on war borrowing
- \$443bn** Department budget
- \$296bn** Veterans' medical and disability care
- \$59bn** State Department war budget

Does not include lifetime care for veterans or future interest payments

14

アフガニスタン被害報道日誌より

<アフガニスタン難民キャンプルポ——毎日新聞(2001年) 10月27日朝刊掲載>

「爆弾を落とす人間（米軍）から食料をもらう人間はいない」

NGO「ベシャワール会」の一時帰国したメンバーが、米国の連日の空爆と餓死の危機に直面するアフガニスタンの現状を語った。空爆の開始直後は正確に軍事拠点を爆撃していたが、その後は市民への被害も聞くようになった。難民キャンプの中には、米軍が投下した食料を集めて焼却しているところもある。「爆弾を落とす人間から食料をもらう人間はいない。米国に対する怒りが渦巻いている。」また、現地スタッフから聞いた話として、空爆開始後丘の上で「空爆が始まるのを待っている」家族がいた。避難するように言っても動かない。父親は「爆弾がおちて破裂した後、くず鉄を拾って売るんだ。」

さらに、餓死の危機も確実に忍び寄っている。「ベシャワール会」では、約150万人が住むカブールで約1万家族（10万人）が餓死する危険があるという。また、かんばつの影響も深刻だ。どうかが掘削した井戸約540ヶ所の内約3割が枯れたという。「5～6時間かけて水くみに来て、1つの井戸2100人が並ぶ。乳児10人の内2人が亡くなっていたのが、アmeerバ赤痢の影響などで10人中7人になった。」

最後にメンバーは語る。「難民として国境を越えてくるのを待つのではなく、貧しくて難民になれなくて留まっている人達を救わなければならない」と。

15

アフガニスタン被害報道日誌より

<ベシャワールから（朝日新聞11/8掲載より）>

ベシャワール郊外の病院には、倒壊を避けて運ばれてきた空爆による被害者が20人以上いる。内2人は病院でなくなった。アフガン東部のクラム村から運ばれてきた主婦マリアンさん（35）。のどと左腹部に爆弾の破片によるものと思われる傷を負い、おなかにいた子供は死産した。何き添いの親類の男性シェール・ハンさん（45）らによると、12日朝の空爆で被害に遭ったという。マリアンさんの家など約15世帯の土造りの家が崩れた。マリアンさんの1家13人の内子供4人を含む8人が家の下敷きになって亡くなった。友人の家にいて難を逃れたハンさんは、「アフガンはもう逃げるところが無い。空爆は許せない。」と長いひげを震わせた。

カブール郊外の小学教師のマフムードさん（33）は自宅で爆発音を聞いた。屋根に登ると市場が土の山に変わっていた。そこで数人の遺体やケガ人が運び出されるのを見た。「ボン、ボン、」破片が残る手で抱いていた次男のダネシュちゃん（1）がしきりに声を出す。「空爆の音を覚えちゃった。」。マフムードさんらによると、首都を脱出する住民の流れは止まらないと言う。先月下旬には「周りに住んでいた住民の7割が消えた。街はがらんとしている」。残っているのは逃げるお金や体力の無い人ばかりだと言う。空爆の影響で仕事も出ず現金収入も無い。

ベシャワールで空爆被害者への献血を呼びかけるアフガニスタンのNGOラル・グルさんによると、カブールの病院では停電のため、血液保存の冷蔵庫が使えず、輸血用の血液が送れないという。「一番、必要などころに送れない。こんなやりきれないことはない。」

16

市民を殺しても最後まで謝罪なし

8月28日にカブール空港で起きた「自爆テロ」で、死者170人(米兵13人)、負傷者200人の多くが、自爆テロではなく米兵の銃乱射による可能性が大きいことが報じられた。CCTV、新華社だけが報じ、他のメディアは伝えない。

また29日にカブール市内で米軍ドローンに攻撃された自動車も誤射で子ども6人を含む10人が殺されたが、これも米では多くのメディアが取り上げない。(9月18日ようやく誤爆を認める)

「彼らは私たちを人と思っていない」「対テロなら何をしてもいいと思っている」



2 まとめ—米日はタリバンの人権批判の前に、自分の戦争犯罪を謝罪すべき

20年間の戦争でアフガニスタンでの死者24万人(市民7万人以上)。国外避難、国内避難、間接的影響での死亡、病気は数百万人

爆撃と掃討作戦でたくさんの市民が犠牲に。

米欧日は加害国だから逃げ出さざるを得なかった。

アフガニスタン戦争は国際法違反(自衛権該当せず)。対テロ戦争は侵略拡大

アフガニスタン復興支援はウソ。巨額の予算は軍需産業と軍事会社、金融独占に。米国は戦争しないと経済が回らない特殊な国家。

トランプもバイデンも女性の権利や人権は、対中包囲の軍事戦略のために投げ出すつもりだった

2の補足 タリバン政権をどう考えるか

イスラム原理主義、反動と暫定的に規定した

政権の基本政策はまだ未定。実態をよく見て判断するしかない

- ①包摂的政府の形成には失敗 タリバンだけの「暫定政府」
- ②北部同盟に対する対応。武力制圧と「話し合い」の対立
- ③国内政策での2面性。「イスラム法の枠内で女性の権利を認める」「全員を恩赦」。他方で政府側で行動した人々の逮捕、追跡、殺害。女性の抗議行動の弾圧。
- ④国際社会復帰を求める。米にある政府資産の凍結解除要求。国連による食糧支援要請。中露への働きかけ

2の補足 いま緊急に必用なこと

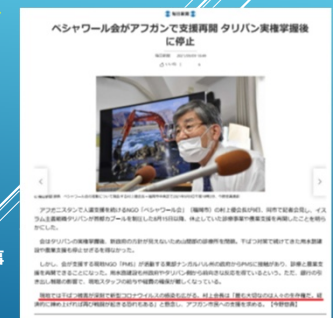
ワキル：女性の状況は治安や経済と表裏一体だと思います。今はジェンダーの問題に取り組むべき時ではありません。人々は厳しい貧困の中で暮らしています。当面は食糧、住居、医療といった基本的なニーズへの対応に注力すべきです。

アフガニスタンの女性は強いです。長年の苦難の中でそのことを証明してきました。女性の利益を守るために戦い続けるでしょう。他方、都市部に住んでいた女性たちは欧米諸国が導入したシステムの恩恵を享受できました。もはや後戻りはないでしょう。

中産階級の人々は、一定の権利や自由と経済的利益を得ました。しかし、農村部に住むアフガン人の大部分を占める貧困層は恩恵を受けませんでした。それどころか、より一層貧しくなりました。

筆者は人民民主党政権の外交官の娘。92年政権崩壊後スイスに亡命。NGO等のメンバーとしてアフガニスタン国内で仕事についた。

<https://www.swissinfo.ch/jpn/society>



3 米は40年以上戦争を押しつけてきた

米国がアフガニスタンに戦争を仕掛けたのは2001年

しかし、アフガニスタンに内戦を押しつけ、激化させ、政権を打倒しようとしたのは1978年から

だから、20年ではなく、40年以上にわたって米はアフガニスタンに武器や資金を供給し、あるいは直接侵攻し、戦争を押しつけてきた

21

4月革命と人民民主党政権

1926年イギリスより独立 アフガニスタン王国

1973年王族の一員であるムハンマド・ダーウードがクーデターで王制廃止、共和制（アフガニスタン共和国）を宣言し、大統領に就任。後に対米・イラン接近、専制的政治体制

1978年4月人民民主党が権力奪取（4月革命）。学生・知識人と軍人が主体。タラキーが大統領に就任。アフガニスタン民主共和国に。近代化、女性の人権保障と農地改革を推進。ソ連に接近

1978年米国（とサウジなど反動王制）反共支援の「サイクロン作戦」でムジャヒディーンを資金・武器援助

（右の写真は80年代のカブール市内と保育園の様子）



22

4月革命の国際的背景

民族解放闘争の勝利と前進、民族解放から社会主義への試み

1975年 ベトナム戦争終了 米国の敗北と社会主義北ベトナム、南ベトナム民族解放戦線の勝利。ラオス。カンボジア

1975年 アンゴラ、モザンビークなど独立

1975年 PL0パレスチナの代表、国連オブザーバー資格

1979年 イラン革命・パーレビ打倒

1980-88年イラン・イラク戦争・・・米はイラクのフセインを支援

1979年 サンディニスタ革命（ニカラグア）

23

人民民主党政権と内戦

1978年 人民蜂起で政権奪取 タラキー大統領（ハルク派） 急進的農地改革実施
バルチャム派を左遷

米・CIAによるイスラム武装勢力の育成

地方を中心に米・パキスタン、サウジなどの軍事支援を受けたムジャヒディーンが内戦強化

1979年 人民民主党ハルク派内紛 タラキー失脚 アミン就任

1979年12月 ソ連に軍事支援・介入を要請（アミン）

アミンの専制的支配を廃し、バルチャム派 カルマル政権へ

米の武器供与強化（右は米製のスティンガーミサイルでソ連ヘリを撃つムジャヒディーン）

1986年 ナジブラー政権 民族和解政策の追求

1988年 ソ連撤兵 91年ソ連崩壊

1992年 ナジブラー政権崩壊／内戦継続

1996年 タリバンが政権掌握 アフガニスタンイスラム首長国



24

タリバンの政権掌握(1996)と反動

ナジブラー政権倒壊後の軍閥割拠の内戦をタリバンが席卷し、全土の9割を掌握

タリバンはパキスタン軍の援助の元で育成

アルカイダと近い 1999年アルカイダがアフガニスタンへ

イスラム法の厳格解釈による政治、抑圧(人権、特に女性の人権の抑圧・労働禁止、文化の抑圧)

2001年 バーミヤン石仏爆破等

4 米は対テロ戦争を中東全域に広げた

「対テロ戦争」はウソ。実際には途上国侵略戦争。ソ連崩壊(1991年)後、唯一の超大国となった米国は、軍事戦略の主軸を対ソから対テロ戦争に転換し、中東全域で反米国家転覆の闘いを開始した。

2001年 アフガニスタン

2003年 イラク戦争

「対テロ戦争」戦術の典型→ 全くの虚偽で戦争を仕掛けた

- ①アルカイダとつながっている
- ②大量破壊兵器を持っていて脅威だ

2001年に米国は軍事戦略を対ソから「対テロ」に転換。「悪の枢軸」=イラク、イラン、北朝鮮。後にシリア、リビア、キューバ追加。

対テロ戦争の拡大

2011年 シリアに内戦を仕掛ける

2011年 リビア・カダフィ政権打倒

サウジアラビアがイエメンに侵略

イスラエルを使ってパレスチナに攻撃

2018年 イラン核合意破棄、イラン包囲

2019年 ベネズエラ・クーデター未遂

2019年 ボリビア・クーデター

2021年 キューバの「抗議デモ」



シリアに居座る米軍

対テロ戦争の被害

再びワトソン研究所の資料

2001年から2021年8月までで

対テロ戦争(リビアは含まれていない)による死者の総計は

90万人以上である。

しかし、これは戦争で殺された人々であり、乳児・幼児の死亡、母親の死亡、病気などによる死亡者は含んでいない。「数倍の死者」が出ている。



	Algerian	Pakistan	Iraq	Syria/ISIS ¹¹¹	Yemen ¹¹¹	Other ¹¹¹	Total
U.S. Military ¹¹¹	2,324 ¹¹¹	-	4,598 ¹¹¹	-	-	190	7,112
U.S. DOD Civilians ¹¹¹	6	-	15	-	-	-	21
U.S. Contractors ¹¹¹	3,917	90	3,650	19 ¹¹¹	21 ¹¹¹	51 ¹¹¹	8,189
National Military and Police ¹¹¹	69,095 ¹¹¹	9,431 ¹¹¹	45,519 ¹¹¹	80,600 ¹¹¹	-	N/A	204,645
Other Allied Troops ¹¹¹	1,144	-	48,719 ¹¹¹	-	-	-	207,845
Civilians	46,370 ¹¹¹	24,090 ¹¹¹	18,831 ¹¹¹	95,000 ¹¹¹	12,690 ¹¹¹	N/A ¹¹¹	363,939
Opposition Fighters	52,893 ¹¹¹	32,838 ¹¹¹	34,806 ¹¹¹	77,000 ¹¹¹	99,321 ¹¹¹	N/A ¹¹¹	347,072
Journalists/Media Workers ¹¹¹	74	87	282	75	33	129 ¹¹¹	301,033
Humanitarian/NGO Workers ¹¹¹	446	105	63	224	46	8 ¹¹¹	892
TOTAL	176,206	66,650	275,087	266,325	112,092	778	879,150
TOTAL (Rounded to Nearest 1,000)	176,000	67,000	275,000	266,000	112,000	1,000 ¹¹¹	879,000

ポスト9/11戦争の人的コスト:主要な戦争ゾーン、アフガニスタン&パキスタンでの直接戦争死(10月2001年10月 - 8月2021);イラク(2003年3月-2021年8月)シリア(2014年9月-2021年9月)イエメン(2002年10月-2021年8月)及びその他の9/11戦争地域

人的コストアフガニスタン、パキスタン、イラク、シリア、イエメンなどでの米国の9/11後の戦争の暴力で直接殺された人の数は、ここで推定されています。例えば、水の損失、下水、その他のインフラ問題、戦争関連疾患など、戦争の反響効果として、さらに多数の死者が出ています。2021年9月1日掲載。2021年9月

ワトソン国際公共問題研究所
111 セイヤムストリート
ブラウン大学、ボックス

戦争の実相

空爆 当初はバンカーバスター
 いまではドローンからの攻撃
 深刻なのは「掃討作戦」の被害
 夜間に襲撃して、「怪しい」男を
 拘束していく。
 家族を殺された人々が多数
 米と政府軍を恨まないわけがない。
 「テロリスト」を作り出した。彼
 らは米軍を侵略者、占領軍と思っ
 ている。タリバンと同じ。



大型の爆弾で破壊された放送局を調査するUMRC現地調査チーム、カブール

11月 20, 2001 18:18 Asia/Thapa

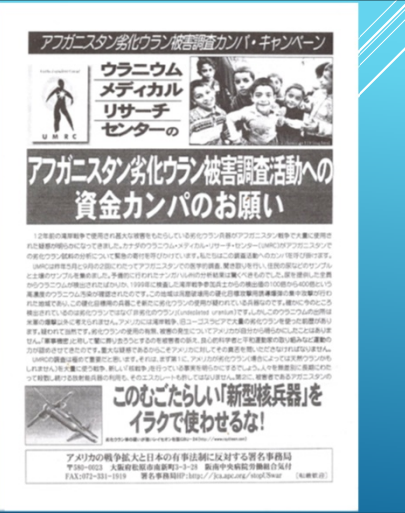
© オーストラリア兵によりアフガニスタンの戦争犯罪 Paris Today

劣化ウラン弾被害調査

2002年の大晦日にバンカーバスター
 爆弾が大量に使われているアフガニ
 スタンで、住民が高い濃度のウラン
 に被曝しているというメールがUMRC
 (ウランウ医学研究センター)と
 いうNGOから届いた。

私たちは日本で調査費用カンパを
 組織し、彼らの活動を支援すると
 ともに、日本でその実態を知らせる
 ために活動した。

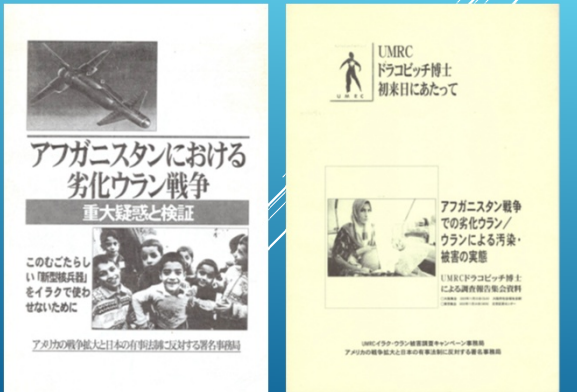
活動はイラク戦争調査まで続いた



バンカーバスターでのウラン被曝を暴く

UMRCのアサフ・ドラコ
 ビッチ博士に2回訪日し
 てもらって、講演会を
 開催しメディアに働き
 かけた。

<http://www.jca.apc.org/stopUSwar/UMRC/umrc.htm> 参照



「対テロ戦争」から対中国へ

トランプ政権の軍事戦略（仮想敵）転換

2017年12月 国家安全保障戦略 **対テロから対中・対ロへ**

2018年1月 国家防衛戦略 同上

2020年7月 国家安全保障戦略大綱 **対中国を第1に**

バイデン政権の国家安全保障戦略暫定指針（2021年3月）

でも**対中国優先**

☆アフガニスタン撤退は米国の敗北（目標達成失敗）であると共
 に、対中国に集中するための方針であった

日本を対中戦争の 尖兵にならせるな

①アフガニスタン戦争の教訓

米国が戦争を仕掛ける時、必ずデマ宣伝で口実をつくる→いまや反中国プロパガンダの氾濫（新疆ウイグル、南シナ海、香港、台湾、新型コロナ等々）

②アフガニスタンから撤退したのも、対中国に軍事力を集中するため

③対中軍事包囲に米日だけでなく欧州も豪州やカナダも結集させる



37

日本を対中戦争の 尖兵にならせるな

アフガニスタン戦争の教訓②

④しかし、米は全面戦争を仕掛けるつもりはない。南西諸島を最前線に対中対決。日本を最前面。日本に闘わせる。南西諸島だけでなく本土が戦場に

⑤ばかげた戦略を日本政府自身が進めようとしている

⑥対中を戦争ではなく、平和共存・安定させるための平和外交を要求すること



8月末に沖縄南方で共同行動する米英日蘭艦隊

38

戦争を煽るデマゴギーに反論し
戦争の準備・軍拡に反対し
対中国の戦争を阻止すること

終

39